連載【5】

我が時 我が朋輩

辰巳 琢郎

「父の日も誕生日も、プレゼントは育毛剤でした」

辰巳の長女はソプラノ歌手の辰巳真理恵（25）。高校2年のとき、父が出演する宮本亜門演出のミュージカル「キャンディード」に出合ったことがきっかけで、医学部から声楽科志望へ方向転換する。東京音楽大学大学院卒業後は、コンサートやオペラなどに出演。辰巳とはバラエティー番組や舞台でも親子共演を果たしている。今年4月には辰巳が作詞を手がけ、真理恵が歌った「乾杯の歌」を発売。歌詞を見た真理恵は「父の性格といいますか、お酒に対する思いがそのまま出ている歌詞。ひとりで飲むのはもったいない、粋じゃない、みんなで飲んでこそのお酒というのが表れています」と話す。

娘と共演することについて、辰巳は「非常にやりづらい」と苦笑いするが、娘から見た父は「家でもこのまんま」なんだとか。

「家でもマイペースで変わりません。テレビとかに出ているときも、NGワードとか余計なことを言ってしまうのではと心配してるところはあります（笑い）。私はこの間、テレビでひとつ、父の〝NG〟を解禁しちゃいました。番組のアンケートで『父の日に何をあげますか』という質問に『育毛剤』と答えたら、フリップまで用意されて使われちゃったんです。そうしたら『飲み薬の方がいいんじゃないの？』とか『辰巳さんはどこの育毛剤使ってるか教えてください』という反応が私のフェイスブックに来てしまい……。父の友達と私がなぜか〝友達〟になって、最近は『この日が空いてるんですが、お父さんのご予定はどうでしょうか？』というメッセージも来ます（笑い）」

衣装協力：イルファーロ 問い合わせ先：三陽商会CR室☎00120・340・460 スタイリスト：田中亨奈（CODE）

8月6日に迎えた55回目の誕生日プレゼントも育毛剤。父の日にあげたものとは違うメーカーのものだったそうで、「変えたらあかんのちゃうん？」と心配する父に「売ってなかったから、弟と一緒に探して良いやつにしたの」と娘。仲の良さが伝わってくる。

反抗期はあまりなかったという半面、「今でもたまに反抗期だったりします（笑い）」とも。辰巳は「もっともっと苦労して、いろんな人に会った方がいい」と、優しくも厳しく娘を見守っている。そんな娘のために自宅の離れに30人ほど入れるミニサロンを造り、定期的にコンサートを開催しているそうだ。

「ありがたいことにコンサートがすぐに完売になることもあって、2部制にすることもあります。父も司会で一度だけ出演してくれました。父に似ていろんなことに興味があるし、あらゆることが歌につながっていくと思うので、クラシックを基本としてお芝居などにも挑戦したいですね」

映画やドラマで親子共演する日も近そうだ。

（おわり）

©日刊ゲンダイ